

市立幼稚園の今後についての説明会 意見・質問及び教育委員会としての考え方（令和8年7月16日 潮見幼稚園開催分）

番号	項目	意見・質問	教育委員会としての考え方
1	財政状況と幼稚園運営への影響	兵庫県の財政悪化報道がありましたが、公立幼稚園の運営への影響はあるのでしょうか。	直接的な影響はありません。県の財政状況が悪化した場合、補助金などが滞り、最悪の場合は行政サービスの低下につながる可能性は否定できませんが、市立幼稚園に関しては市の財源で運営しているため、現段階では今まで通り問題なく運営していけると考えています。
2	架け橋期コーディネーターの配置	架け橋期コーディネーターの配置人数や配置時期、役割について教えてください。	令和10年度からの配置を予定し、市立幼稚園教諭から選任し、専任として配置することを考えています。役割はすべての就学前施設と小学校をつなぐカリキュラムの作成を進めることで、今年度から各小学校区ごとに他の就学前施設とともに合同勉強会等をスタートし、市全体の質の維持向上を図っていきます。
3	預かり保育と3歳児保育の拡充	共働き世帯でも幼稚園に通いやすいよう、預かり保育の延長などハードルを下げる工夫や戦略はないのでしょうか。	預かり時間の延長等の支援は状況をみながら継続的に検討しますが、3歳児保育については、市立の認定こども園や他の就学前施設において、市全体として供給がニーズ量を上回っているため、市立幼稚園において拡大する予定はありません。まずは既存の取り組みのPRに努めます。
4	統廃合に伴う通園の負担と安全対策	統廃合による遠距離通園の安全確保のため、園バスの導入など親子の負担軽減策を考えてほしいです。また、説明会で出た意見は必ず議会に伝えてください。	園バスの導入予定はありませんが、通園路の安全対策についてはソフト面でできることを検討していきます。いただいたご意見は市議会へもお伝えします。
5	園児数の推計	配布された市立幼稚園の園児推計表はどのように算出されたのでしょうか。私立幼稚園の推計はあるのでしょうか。	現在、園区は定めていませんが、過去に園区としていた地域のこどもの数（住民基本台帳の人口数）に対する実際の園児数から「就園率」を算出し、その率を来年度以降、対象年齢のこどもの数にかけて算出をしています。 なお、私立幼稚園の推計については市では作成していません。
6	公立幼稚園の魅力発信とPR	残る幼稚園が存続するために、私たち保護者も工夫できることはないか話し合っています。初めて幼稚園を探すかたは、まず市役所に行くことが多いので、そこで公立幼稚園の良さを知ってもらうことが重要だと思います。実際に通わせている保護者の声をまとめた資料を作成したので、お渡しします。 本市の幼稚園の魅力は、給食やバス、制服といったハード面ではなく「見えない教育の良さ」だと思います。これをもっと市役所やホームページ等でPRできるようなシステムを作ってほしいです。	貴重なご意見と保護者の声をまとめた資料、建設的なご意見をいただきありがとうございます。保育所やこども園とのバランスも考慮しながら発信する必要はありますが、教育委員会として各園の良さをどのように発信できるか、しっかりと検討したいと思います。
7	未就園児向け事業と保護者支援	「さんさんひろば」等の年齢制限を緩和し、親同士が交流できる場を増やしてほしいです。また、3歳児クラスを作ってほしいです。	3歳児クラスの新規設置は市全体の就学前施設の状況から難しいですが、「さんさんひろば」の年齢制限緩和や、0歳から参加できるオープンスクールなど、気軽に来園できる環境づくりについては検討したいと思います。

市立幼稚園の今後についての説明会 意見・質問及び教育委員会としての考え方（令和8年7月16日 潮見幼稚園開催分）

番号	項目	意見・質問	教育委員会としての考え方
8	相談窓口の対応	こどもをどの就学前施設に通わせるか、市役所窓口で相談した際、保育所の窓口ではこども園の冊子だけを渡され、幼稚園については別の建物にある教育委員会に行ってくださいと突き放されたような対応をされました。また教育委員会の窓口でも募集要項は園で受け取ってくださいと言われただけでした。 幼稚園とこども園を比較検討したり、もう少し相談ができるような寄り添った対応してほしいと思います。	ご不快な思いをさせてしまい申し訳ございませんでした。幼稚園とこども園で担当部署が異なり窓口が離れているためご不便をおかけしていますが、ご指摘を真摯に受け止め、今後は両部署が密に連携して、市民の皆様に寄り添った対応ができるよう改善に努めます。